

街を行く

第91回 辻堂 Tujidou

オンもオフも楽しめる

皆さんはこの地名から「湘南の風を感じながら夏を満喫する」オシャレさをイメージされるのではないのでしょうか。辻堂は、駅の南口にスポットを当てると海岸に至るイメージ通りの“オフ”の街ですが、北口へ視点の移せば生活空間としての“オン”の街になります。今回は北口“オンの辻堂”を歩いてみました。

交通アクセスは東海道線で横浜までスグ、東京都心へもさほど時間はかかりません。通勤通学に便利で住宅地としての人気は上がる一方です。

そして、何と言っても辻堂という名前の響きやイメージは明るく爽やかで、何ともウキウキした気分させてくれます。駅周辺には買物や食事に便利な施設が並び「今後住宅地が拡がりますよ」と教えてくれるかのような好環境。実際、大型の住宅プロジェクトが増加していて、マンション街としての一面を見せはじめています。

このように、交通網が便利な場所に自然と住宅地は広がってくるものですが、もう1つ住まいを選ぶうえで条件となるのは自然環境でしょう。

都心から郊外へ進行してきた住宅開発ですが、かつて人工的に作られた住宅街は時代の流れとともに役目を終えつつあります。住民の多くは広い一戸建てを夢見てがむしゃらに働き、せっせとローンを払い続けてきた世代です。彼らはいま老年期を迎えており、すでに独立した子どもたちは当然のように通勤や通学に便利な大都市周辺を好み住居を選んでいきます。かつてのベッドタウンは高齢者の街に変貌し、当時賑



南口(写真上)はオフ、北口(写真下)はオン、辻堂は双方を兼ね備える古くて新しい住宅エリア

わった大型ショッピングモールは閑散とし、駅前も活気がない寂しい街となっています。

ところが最近、再び人が戻りはじめている街もあります。自然環境が整い「ここで子供を育てたい」と思わせる街です。無理やり開発され“型にはめ込んだような”街ではなく、子供たちが楽しく暮らせるよう地域ぐるみで子育てを支援している街です。辻堂は湘南という豊かな自然環境が背景にあり、その点で大いに“得”をしていると言えます。それと、やはり東海道線という大動脈は強いですね。オシャレな私鉄沿線に比べ少しゴツゴツした粗削りな感じもありますが、どっしりとした落ち着きがある

のも良いものです。

ひとつの街でオフとオンを兼ね備えているのは大きなポイントですよ。ウィークデイもウィークエンドも街で過ごせるのですから。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。